

令和7年度10月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【外国人留学生特別選抜】

人間科学専攻 心理学コース

〔専門科目〕

試験日：令和7年8月29日（金）

注 意

1. 解答は、別冊の解答用紙の所定欄に記入すること。
なお、解答用紙の表紙には受験番号及び氏名を記入すること。
2. 総ページ数 — 3 ページ（第1 ページは白紙）
3. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

問 1 以下の英文を読み、問題に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

<引用元>

Ciarrochi, J., Forgas, J. P., & Mayer, J. D. (2006). *Emotional intelligence in everyday life (2nd ed)*. Psychology Press: NY.

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部②を日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部③を日本語に訳しなさい。

問2 次の(1)(2)の両方に答えなさい。

- (1) 算術平均、中央値、最頻値の長所と短所を説明しなさい。
- (2) 縦断研究と横断研究についてそれぞれの利点と欠点を挙げ、対比させながら説明しなさい。

問3 次の問題から4問を選んで解答しなさい。自分自身の研究計画、専門分野に限らず、どの問題を選択してもよい。選んだ問題番号を明記すること。

- (1) 馴化・脱馴化法について、具体的な実験内容に触れながら説明しなさい。
- (2) Elliotらの達成目標理論について説明しなさい。
- (3) 人々が同調する理由について、Deutsch & Gerard (1955)の議論に基づき説明しなさい。
- (4) 感情の実行機能と思考の実行機能の発達について説明しなさい。
- (5) Heiderのバランス理論について、具体例を挙げつつ、説明しなさい。
- (6) 拮抗条件づけについて、基本的な方法とその応用について説明しなさい。
- (7) 発達の最近接領域 (zone of proximal development) について説明しなさい。
- (8) サリヴァン (Sullivan, H.S) の提唱した「関与しながらの観察」について説明しなさい。

令和8年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【一 般 選 抜】

人間科学専攻
心理学コース

〔専門科目〕

試験日：令和7年8月29日（金）

注 意

1. 解答は、別冊の解答用紙の所定欄に記入すること。
なお、解答用紙の表紙には受験番号及び氏名を記入すること。
2. 総ページ数 — 3 ページ（第1 ページは白紙）
3. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

問 1 以下の英文を読み、問題に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

<引用元>

Ciarrochi, J., Forgas, J. P., & Mayer, J. D. (2006). *Emotional intelligence in everyday life (2nd ed)*. Psychology Press: NY.

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部②を日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部③maltreatment の意味とそれがもたらす影響について、本文に即しながら説明しなさい。

問 2 次の (1) (2) の両方に答えなさい。

- (1) 算術平均、中央値、最頻値の長所と短所を説明しなさい。
- (2) 縦断研究と横断研究についてそれぞれの利点と欠点を挙げ、対比させながら説明しなさい。

問 3 次の問題から 4 問を選んで解答しなさい。自分自身の研究計画、専門分野に限らず、どの問題を選択してもよい。選んだ問題番号を明記すること。

- (1) 馴化・脱馴化法について、具体的な実験内容に触れながら説明しなさい。
- (2) Elliot らの達成目標理論について説明しなさい。
- (3) 人々が同調する理由について、Deutsch & Gerard (1955) の議論に基づき説明しなさい。
- (4) 感情の実行機能と思考の実行機能の発達について説明しなさい。
- (5) Heider のバランス理論について、具体例を挙げつつ、説明しなさい。
- (6) 拮抗条件づけについて、基本的な方法とその応用について説明しなさい。
- (7) 発達の最近接領域 (zone of proximal development) について説明しなさい。
- (8) サリヴァン (Sullivan, H.S) の提唱した「関与しながらの観察」について説明しなさい。

令和8年度4月入学

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）入学試験問題

【社 会 人 特 別 選 抜】

人間科学専攻 心理学コース

〔専門科目〕

試験日：令和7年8月29日（金）

注 意

1. 解答は、別冊の解答用紙の所定欄に記入すること。
なお、解答用紙の表紙には受験番号及び氏名を記入すること。
2. 総ページ数 — 3 ページ（第1 ページは白紙）
3. 試験終了後、この冊子は持ち帰ること。

問 1 以下の英文を読み、問題に答えなさい。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

問題文は、著作権の関係で掲載しておりません。

<引用元>

Ciarrochi, J., Forgas, J. P., & Mayer, J. D. (2006). *Emotional intelligence in everyday life (2nd ed)*. Psychology Press: NY.

- (1) 下線部①を日本語に訳しなさい。
- (2) 下線部②を日本語に訳しなさい。
- (3) 下線部③を日本語に訳しなさい。

問2 厚生労働省と警察庁の「令和6年中における自殺の状況」によれば、2024年における年間自殺者数は20,320人と、統計を始めた1978年以降、2番目に少なくなった。一方で、小中高生の自殺者数は527人と、統計のある1980年以降過去最多となった。現代の子どもが抱える生きづらさの背景について多角的に考察し、どのような取り組みが求められるかについて論じなさい。

問3 次の問題から4問を選んで解答しなさい。自分自身の研究計画、専門分野に限らず、どの問題を選択してもよい。選んだ問題番号を明記すること。

- (1) 馴化・脱馴化法について、具体的な実験内容に触れながら説明しなさい。
- (2) Elliotらの達成目標理論について説明しなさい。
- (3) 人々が同調する理由について、Deutsch & Gerard (1955)の議論に基づき説明しなさい。
- (4) 感情の実行機能と思考の実行機能の発達について説明しなさい。
- (5) Heiderのバランス理論について、具体例を挙げつつ、説明しなさい。
- (6) 拮抗条件づけについて、基本的な方法とその応用について説明しなさい。
- (7) 発達の最近接領域 (zone of proximal development) について説明しなさい。
- (8) サリヴァン (Sullivan, H.S) の提唱した「関与しながらの観察」について説明しなさい。